

タカタ（株） 倒産日 2017年6月26日

【証券コード：7312 東証1部上場 日経36業種：自動車・自動車部品】



【左軸:時価総額（百万円）、右軸:自己資本比率（%）】

タカタはエアバックの世界シェア約2割を占める大手で、シートベルトなども生産している自動車部品メーカーである。

欠陥エアバックの問題で経営が悪化し、2017年1月の米国司法省との和解金支払合意のため、2017年3月期の自己資本比率が大幅低下していた。(注1)自動車メーカーが肩代わりしているリコール関連費用も多く残るため、自力での再建は難しいと判断し、2017年6月26日に東京地裁へ民事再生法の適用を申請することになった。(注2)

◆過去3カ年主要財務項目の推移

	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末
時価総額	110,188	36,425	40,167
負債	326,669	318,449	397,812
営業利益	32,958	42,133	38,958
経常利益	40,657	35,206	42,999
当期純利益	-29,558	-13,075	-79,588

(単位:百万円 金融工学研究所調べ)

注1:日経電子版 2017年5月11日付を元に金融工学研究所が記載

注2:日経電子版 2017年6月26日付を元に金融工学研究所が記載



【左軸:時価総額（百万円）】

上場企業に対し、株価の変動と財務指標で信用力（DCRI）を測定する弊社製品 DEFENSE(ver5)では、2014年初めの時点で当該企業を a格で評価していた。2014年10月に米国運輸省からエアバック部品の交換を促す声明が発表されたことから、リコール台数拡大の懸念が広がり bbb-格まで下落、その後も財務の悪化から下落し2017年3月期第3四半期決算が発表された2017年2月には b格、倒産1週間前時点では ccc格で評価していた。また、2017年から開始している日次評価でも、2017年6月23日の株価基準日での評価が ccc格となっている。

◆倒産時点より遡った DEFENSE の主要項目

	104 週前	52 週前	26 週前	12 週前	4 週前
DCRI	9.254	11.497	9.746	14.439	14.423
DCR	bbb-	bb	bbb-	b	b
Status	Yellow-1	Yellow-2	Yellow-1	Red-2	Red-2
DCRI 業種平均	7.613	8.687	7.846	7.977	7.995
DCRI 業種中央値	7.868	9.025	8.382	8.432	8.155

DEFENSE の Status は 6 段階（※）で表現しており、その中で Red-1、Red-2 は相対的に信用力に問題のある企業に対するシグナルとなっている。

※Green-1、Green-2、Yellow-1、Yellow-2、Red-1、Red-2

「Default Event Study (デフォルトイベントスタディ)」のお問い合わせは、下記までご連絡をお願い致します。
株式会社 金融工学研究所 Tel 03-6273-7743 FAX 03-6273-7973 URL <http://www.ftri.co.jp/>

「デフォルトイベントスタディ」の著作権は㈱金融工学研究所に帰属し、その目的を問わず、情報の全部または一部を無断で引用または複製することを禁じます。「デフォルトイベントスタディ」は、信頼に足ると判断したデータ、情報を掲載していますが、㈱金融工学研究所は、その正確性、確実性、有用性を保証するものではありません。また、㈱金融工学研究所は、「デフォルトイベントスタディ」の直接的および間接的を問わず、その使用により結果として生じた損害、損失、紛争に関して、一切補償致しません。